

令和元年度進行管理・評価シート
磐梯町歴史的風致維持向上計画（平成28年1月25日認定）
（最終変更令和2年5月25日）

■進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施に向けた推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	-
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡慧日寺跡整備事業	2
2 歴史的建造物保存事業	3
3 歴史的文化遺産調査事業	4
4 歴史的まちなみ防災対策事業	5
5 まちづくり団体設立・育成支援事業	6
6 伝統文化財継承事業	7
7 磐梯町景観計画策定事業	8
8 歴史的まちなみ整備事業	9
9 慧日寺参道整備事業	10
10 慧日寺門前市整備事業	11
11 花川自然石護岸及び水路改修事業	12
12 大寺城の調査・保全整備事業	13
13 大寺地区歴史的風致保全事業	14
14 史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業	15
15 大型バス迂回路整備事業	16
16 磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業	17
17 磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業	18
18 歴史を活かしたまちづくり推進事業	19
19 歴史的風致紹介ガイド育成事業	20
20 広域連携推進事業	21
21 道の駅情報発信機能充実事業	22
22 史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備	23
23 歴史まちづくり推進機構の設立	24
24 磐梯町歴史文化読本作成事業	25
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修復・整備に関する取組み	26
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	27
3 文化財の周辺環境の保全に関する取組み	28
4 文化財の防災に関する取組み	29
5 文化財の保存及び活用に活用の普及・啓発に関する取組み	30
6 埋蔵文化財の取扱いに関する取組み	31
7 住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み	32
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 慧日寺に観光拠点「庄九郎亭」20日開所	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施	34
■法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	35

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
計画の実施に向けた推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、「政策課」が事務局となり、庁内各課で組織する「磐梯町歴史まちづくり庁内推進会議」において計画推進を図り、庁内の連絡調整を行うものとする。また、国、福島県等の関係機関との協議を行うとともに、相談や支援を得る。
 歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会」は事務局と連携し、計画の実施に関する協議、連絡調整を行う。なお、必要に応じて文化財所有者、管理者や文化財等の保存活用を行う町民、関係委員会や団体と連携し、支援を行う。
 史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会においても、区域内の一体的な整備のため、まちづくりにおける情報共有や助言・指導を仰いでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

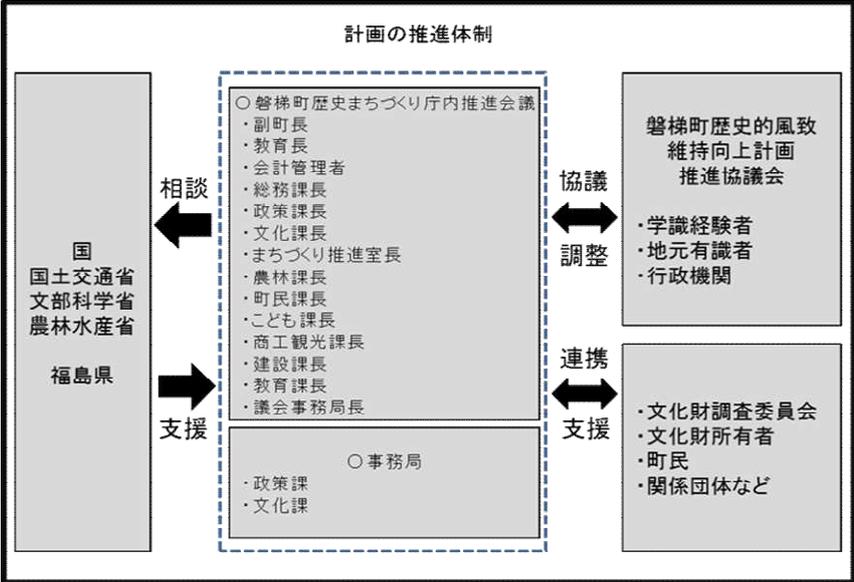
- 史跡慧日寺跡整備事業 発掘調査、史跡整備し同委員会の開催
- 歴史的建造物保存事業 歴史的建造物修理への助成
- 歴史的文化遺産調査事業 重点区域内の石垣調査
- 歴史的まちなみ整備事業 まちなみ保全のための修景事業への助成
- 花川自然石護岸改修事業 花川河川の橋梁改修
- 歴史を活かしたまちづくり整備事業 ワークショップ、まちづくり講演会の開催

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第72回史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会
令和2年2月17日開催

第8回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会
意見書

令和 2 年 月 日

磐梯町長 佐藤 伸一 様

所属(団体) _____
氏名 _____

私は、第8回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、下記のとおり意見を申し上げて参加いたします。

協議事項

(1) 磐梯町歴史的風致維持向上計画の概観な変更について

(2) 令和元年度磐梯町歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価等について

(3) 令和2年度磐梯町歴史的風致維持向上計画事業について

※意見については任意様式で別途作成でも可

【記載・提出の留意事項】
 (1) 氏名等の記入方法
 本協議会委員の「印記名・押印」又は「宛名名(押印不要)」
 (2) 提出方法(印刷済み用紙により提出ください。郵送は不要です。)
 ① スキャナー等でPDFファイルにし、電子メールで提出
 ② ファックスで提出
 ③ 郵送で提出

第8回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会
令和2年3月10日書面開催 意見書様式

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡慧日寺跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業、国宝重要文化財等保存活用事業

計画に記載している内容
 ・平成15年(2003)度から着手している史跡整備事業の継続
 ・史跡としての案内表示の充実 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 第32次発掘調査 史跡内堂東・旧吉田家住宅南側 A=300㎡(令和元年8月末～11月)
- 整備に向けた史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会の開催(令和元年11月・令和2年2月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



堂東地内

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業(H28～29年度)
 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(R1～R5年度)

計画に記載している内容 歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物及び付随する塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行うとともに、改修等に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。
 ○歴史的風致形成建造物指定件数:計4件
 ○歴史的風致形成建造物 平成28年度修理実施棟数 2棟
 ○歴史的風致形成建造物 平成30年修理実施棟数(H29繰越) 2棟
 ○歴史的風致形成建造物 令和元年修理実施棟数 1棟

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町と所有者の意見の相違や資力等もあるため、十分に意見交換を行いながら調整する必要がある。また、所有者への歴史的建造物の保存価値を十分理解して頂き修理に取り組む必要もある。

状況を示す写真や資料等



秋山家住宅(令和2年3月竣工)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的文化遺産調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容

- ・町内に点在する歴史的価値がある建築物・石垣・水路等、十分に調査されていない歴史的文化的遺産の実態を把握し、適切に保全、利活用を推進するため、歴史文化遺産の調査を行う。
- ・慧日寺参道及び周辺地域の整備に向けて、まちなみの調査を実施する。
- ・実態が把握されていない歴史的建造物等について、所在や建築年代、建築技法等の悉皆調査を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本寺地区の特徴でもあり、歴史的価値の高い石垣について調査を行った。

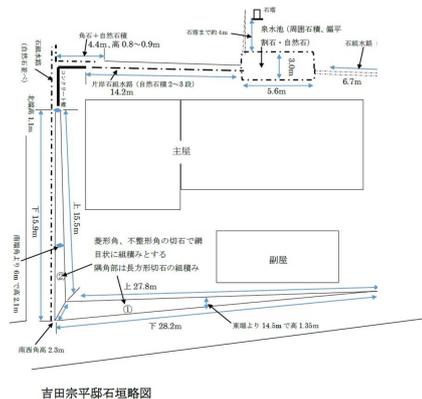
平成30年度 3宅地分実施

令和元年度 14宅地分実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣調査にあたり調査方法マニュアルの検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

所在地	大字磐梯字本寺上4956	
敷地内位置	①敷地南側道路沿い ②敷地西側	
方向	①東西方向 ②南北方向	
積み方	①、②菱形角切石、不整形角切石による網目状の組積み、①と②の角部は方形、長方形角切石による組積み	
規模	全長①下端28.2m、上端27.8m ②下端15.9、上端15.5m	高さ ①中程1.35m ②②角2.3m、 ②北端部1.1m
積石形状	①、②菱形角切石と不整形角切石、方形、長方形角切石、	
石個体寸法	①②30～50cm角のもの主体、安山岩	
石材質		
備考	②石垣の西側、敷地北側と東側に自然石積および自然石を並べた石組の水路が廻り、北側には3×5.6mほどの長方形の泉水がある。北側水路の西半部は敷地側の片岸が高さ0.8～0.9mの自然石積となっている 調査日時 令和元年7月25日	



石垣全景 (南西より)



石垣南側 (東より)



石垣西側 (南より)



主屋北側の石積水路 (西端より)



主屋北側の泉水



泉水北側の石塔と流れ込む水路

本寺地区 石垣調査カードの作成

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ防災対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物が数多く立地する本寺地区を中心として、放水銃や消火栓、歴史的建造物の耐火性向上など地域防災施設の整備を行い、地域の防災性を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本事業は参道に埋設されている水道管からの取り出しが必要となり、慧日寺参道の整備に合わせて施工することが効率的であることから事業期間を延期。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
まちづくり団体設立・育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 慧日寺の歴史を継承し、保存活用を行うまちづくり団体の組織化や育成を図り、保全、利活用に向けた取組みを活性化させるとともに、活動経費の一部について助成金を交付し支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本寺地区において、地区住民が主体となったまちづくり団体の設立に向けて地元説明会を開催し、問題提起をしながら意識向上を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



本寺地区まちなみ整備説明会
平成31年4月26日(金)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

伝統文化財継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	--	---

事業期間	平成28年度～令和7年度	
------	--------------	--

支援事業名	地方創生加速化交付金事業、町単独事業	
-------	--------------------	--

計画に記載している内容
 ・祭礼や地域の民俗芸能の活動を促進するため、用具等に対して助成を行う。
 ・江戸時代以来途絶えている明神舞や現在活動を休止している火伏せの火渡りなどの祭礼の再興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」を地域の民俗芸能に対する価値の認識と継承保存を促進するため、実行委員会に対して、招待状送付や祭事解説パンフレット作成、巫女の化粧品等の購入に対して助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元世帯数の減少などにより、祭事運営の経費が負担となり伝承に支障をきたしつつあることから、町では文化財保存伝承補助金を交付した。また、長年、担い手不足が深刻な問題となっていた巫女舞が、新たな形の保存団体として発足した。

状況を示す写真や資料等



県指定重要無形民俗文化財「巫女舞」



民俗芸能「明神舞」の練習風景

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
磐梯町景観計画策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 慧日寺跡を含む文化財と磐梯山の自然との一体的な景観形成の方針の確立に向けて、本町独自の景観計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年3月にまちなみの良好な景観形成を図る目的として、「磐梯町本寺地区まちづくり協定」を制定した。平成31年4月26日には景観計画策定に向けての土壌づくりとして、地区懇談会を開催し歴史的町並み整備に向けた住民の気運の醸成を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画策定に向け、引き続き地区との協議を行っていく。

状況を示す写真や資料等



本寺地区景観形成ガイドラインとは？

ガイドラインの考え方

- 建物の形、素材、色彩などを詳細に決めず、個々の物件に柔軟に対応できるようにします。
- 本ガイドラインは町並みの景観を形成している、建物の外観および外観を成り立たせている構造部に関わるもの、外構の植栽や工作物等を対象としています。
- 本ガイドラインは将来的な歴史的なまちづくりを見据え、みんなで話し合いながら段階的に内容の追加や修正を行います。

ガイドラインの使い方

- これまでの歴史や暮らしから生み出され、現在まで受け継がれてきた「本寺地区らしき」を伝えるものとして、建物の改修等を行う際の指標として活用します。
- ガイドラインをもとに、町で歴史的な建物の価値を残し将来へ継承するための支援を行います。



内容に関するお問い合わせ等については、下記までご連絡ください。
 磐梯町役場 政策課 政策係
 電話番号:0242-74-1211 (内線 133) FAX:0242-73-2115

デザインガイド 今ある町並みや建物の魅力や価値を継承していきましょう

建物改修の基本方針

- 修理を行う前に、建物が元々どのような形、意匠、素材だったのか調べましょう。建てられたときから現在まで受け継がれてきた形、意匠、素材等について、可能な部分は残していきます。
- 現代の生活に合わせるために必要な改善は、なるべく歴史的なものを尊重して、その魅力や価値を損なわないようにしましょう。もし新しい材料にしなければならない場合は、記録をとっておきましょう。
- まず確んだ材料を健全な状態に戻し、それから付け足す修理を考えましょう。最初から使われていた部材や意匠と、新しいものが同じように見えて、誤解を招かないような修理をしましょう。
- 具体的な修繕内容は、設計者や施工者とよく話し合いながら決めましょう。

敷地・建物配置



- 通りの景観を特徴づけている、地形に沿って階段状にゆったりと区分された形状を継承するよう努めるとともに、歴史的町並みの連続性に配慮しましょう。
- 現在の歴史的町並みを構成する建物開口幅を継承するように努めましょう。
- 町並みを特徴づけている配置を継承し、建物正面を南側に向け玄関を設けましょう。

石垣・植栽・祠



- 本寺地区の景観を特徴づけている石垣や生垣、祠のある町並みは継承するように努めましょう。

ガイドラインによる景観計画の検討



平成31年4月26日開催 地区懇談会

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和元年度

評価対象年度

令和元年度

項目	現在の状況
歴史的まちなみ整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和7年度

支援事業名 単独事業、街なみ環境整備事業(令和元年度～令和5年度)

計画に記載している内容 歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物以外の歴史的な建物や塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定されない建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、所有者等に対する支援を実施。
 ・令和元年度 地区住宅案内看板、1基 ・ 個人所有板塀修理、1件

歴史的まちなみに調和するよう町が所有している工作物等の修景を実施。
 ・カープミラー修景実施(平成28年度、2基 ・ 平成29年度、2基 ・ 平成30年度、1基)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



本寺地区案内板の修景



板塀の修景(令和2年3月竣工)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
慧日寺参道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
 慧日寺の開基以降、中世には整備されていた参道の歴史的な価値を広く町民と共有するため、慧日寺参道及び慧日寺へのアプローチ道路において、無電柱化、参道沿いの水路整備、参道の美装化など景観改善を推進する。また、整備にあたっては生活交通に支障を来さないよう生活用道路を含めた交通誘導について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

慧日寺へのアプローチ砂利道を史跡回遊ルートとして美装化するにあたり、史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会で整備方針の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年3月、福島ブロック無電柱化協議会事務局会議において「事前協議要検討・要請者負担で合意」と決定。現時点においては、無電柱化の手法が決まっていないことや、地区の合意形成が得られていないこと、技術的・法的にクリアしなければならない諸条件がある。

状況を示す写真や資料等



現地調査の様子



慧日寺アプローチ道の現況

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
慧日寺門前市整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業、町単独事業

計画に記載している内容 慧日寺参道沿いの民家を活用し、歴史的景観を象徴するファサードを持つ地域活性化の拠点となる多機能型施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した旧吉田家住宅の改修工事を実施(平成29年度～平成30年度)
 土地:磐梯町大字磐梯字本寺上4962番地 A=1774.07㎡ 建物:居宅 木造草葺平屋建 A=195.04㎡(築140年)
 平成31年4月19日に旧吉田家住宅を「徳一の里 庄九郎亭」として町の第三セクターを指定管理者に建造物を一般開放、門前通りの史跡関連施設として軽食の提供、貸しスペースや観光案内所を備えており、門前町の情報発信施設となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



OPENした旧吉田家住宅
「徳一の里 庄九郎亭」

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
花川自然石護岸及び水路改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、町単独事業

計画に記載している内容 現在コンクリートで舗装されている本寺地区内を流れる花川の河川改修を実施するとともに参道沿いの水路や生活水路などについて防災にも配慮した上で改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的景観を再生するため、本寺地区を流れる普通河川花川の橋梁改修整備と自然石護岸改修整備を実施。河川橋梁(仁王橋)設置 L=10.0m【ヒューム管構造物を橋梁とし、併せて橋梁下部工(U型開水路)内に自然石護岸を整備した】

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



改修された仁王橋(上流側)



改修された仁王橋(下流側)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
大寺城の調査・保全整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容

慧日寺の存在を背景に、宿駅として発展した大寺地区のにぎわいを取り戻すために、大寺城跡を整備、保存活用を図り、大寺地区と一体的に周遊できるよう整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

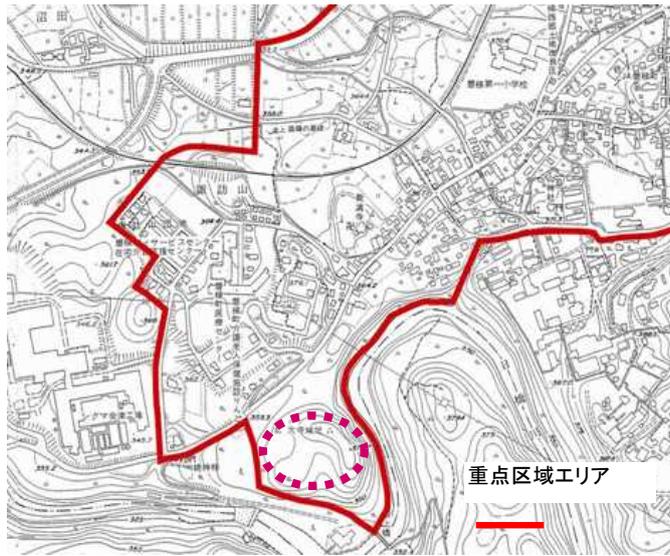
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

現在、大寺城跡は東京電力が所有する土地であり、今後の整備・保存活用を図るうえで協議が必要である。現時点で具体的な整備活用方針(協議)も決まっていない。

状況を示す写真や資料等



会津古城図



現在の大寺城跡

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
大寺地区歴史的風致保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 大寺地区における宿駅としての歴史を体現する建造物、まちなみの保全、屋号等の案内板の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

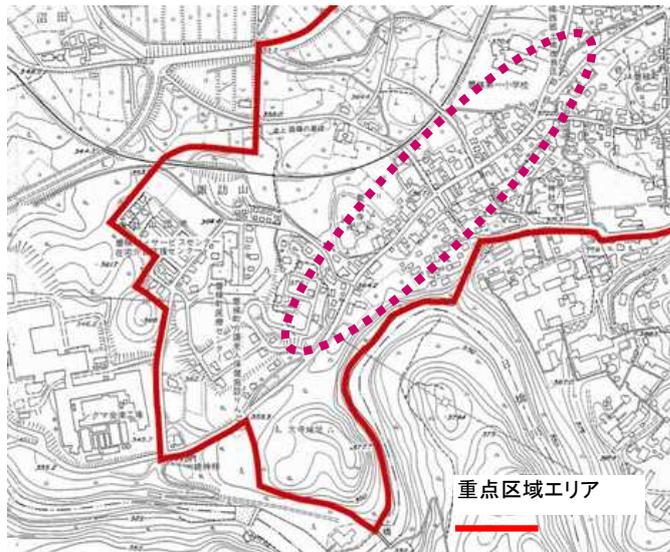
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本寺地区を先行して着手しており、大寺地区住民への説明や合意形成に至っていない。

状況を示す写真や資料等



重点区域エリア



現在も掲げられている屋号



磐梯酒造の応接間

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 史跡慧日寺跡、磐梯山慧日寺資料館、慧日寺参道へのアプローチを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度 参道沿いの花壇整備(L=50m)、文化財周辺の除草作業等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



史跡周辺および花壇整備の様子

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
大型バス迂回路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 慧日寺跡の史跡としての価値をできるだけ多くの人に知ってもらうため、大型観光バスの迂回路を標識等とあわせて整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

迂回路隣接の一級河川護岸景観整備事業(令和3年度 県事業)に併せ、参道と河川との一体的な迂回路機能発揮のための工法検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現状では、大型バスも磐梯山慧日寺資料館駐車場に駐車しているが、参道整備にあわせて、車の乗り入れが制限されることから、参道整備にあわせて一体的な整備を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



大型バス迂回場所の予定地

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載
している内容

慧日寺の文化的意義に関する情報発信、教育、学習基盤施設として、昭和62年8月に開館し、歴史まちづくりの拠点として大きな役割を果たしていることから、歴史文化の中核拠点として整備する。具体的には、映像を用いることにより、往時の門前町の雰囲気、徳一と最澄の論争等をイメージアップする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在の資料展示だけでなく、ITを活用した映像展示などにより施設の魅力を高める。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

財政負担が課題となる。

状況を示す写真や資料等



現在の資料館【内観】

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容

磐梯町に存在する様々な文化財に対する理解の深化や文化財に触れるきっかけ、保全・活用に対する意識形成を促進するツールとして、文化財を紹介する新たな冊子と写真スポットや口コミ等、訪れる人の目線に立った読みたくなるマップを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度 観光ガイドブックを最新情報に更新した。
印刷部数: 20,000部

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



観光ガイドブックを更新

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名

計画に記載している内容 歴史まちづくりに関する意識を高めるため、歴史まちづくりやまちなみ、景観形成について講演会や勉強会、研修、ワークショップを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①磐梯山慧日寺資料館歴史講座 全4回 参加者138名
- ②<ワークショップ>粘土でつくるほとけさま 参加者12名
- ③磐梯町観光まちづくり講演会 全3回 参加者63名(2回目までの実績。3月14日に3回目)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和元年9月歴史講座
 解説:磐梯山慧日寺資料館名誉館長
 若林 繁 先生



ほとけづくりワークショップに参加したみなさん
 【講師:東京藝大保存修復彫刻研究室】

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致紹介ガイド育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 史跡慧日寺跡等を訪れた観光客等に対して、会津仏教文化の拠点として存在している磐梯町の歴史と魅力を的確に知らせることができるようにするため、地域の担い手となるガイドを育成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ボランティアガイド実績 平成29年度 5回(57名)・平成30年度 4回(83名)・令和元年度 4回(35名)
 ジオサイト・フィールド研修 令和元年度 2回(19名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ボランティアガイドによる説明の様子

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
広域連携推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 仏都会津として豊富な歴史的文化的資源を擁する周辺地域との連携を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡慧日寺跡を活用した福島県・極上の会津プロジェクト協議会の交流事業として実施
 ◆花の王国ふくしま キビタンフラワースタンプラリー2019:平成31年3月2日～9月22日 応募用紙送付者総勢:18,624名
 ◆リアル宝探しイベントin福島「コードF-9」 磐梯町エリア:平成31年4月20日～10月27日 参加者:7,257名
 ◆磐梯山周辺観光誘客事業の実施(3町村連携)
 ・A&Gスペシャル 雲水と行く会津磐梯山周辺を巡る旅2019 7月13日～7月14日 参加者:104名
 ・会津磐梯山周辺桜巡りバスツアー 4月25日 参加者:45名

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



キビタンフラワースタンプラリー2019



リアル宝探しイベントin福島「コードF-9」



雲水と行く会津磐梯山周辺を巡る旅2019

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
道の駅情報発信機能充実事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和4年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容
 慧日寺門前町の歴史に関する様々な情報を入手することができ、歴史に関心をもった町民や来訪者が交流することができる周遊の起点として、道の駅の情報発信機能の充実強化を図るとともに、史跡慧日寺跡と相互に連携できる一体的な地域空間を創出するための道の駅の拡張整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡慧日寺跡などの歴史を詳しく知ることのできる展示スペースの整備
- ・史跡慧日寺跡と連携した回遊性を高める機能の整備
- ・町民、観光客が相互に交流でき、滞留時間を伸ばすための温浴施設を整備

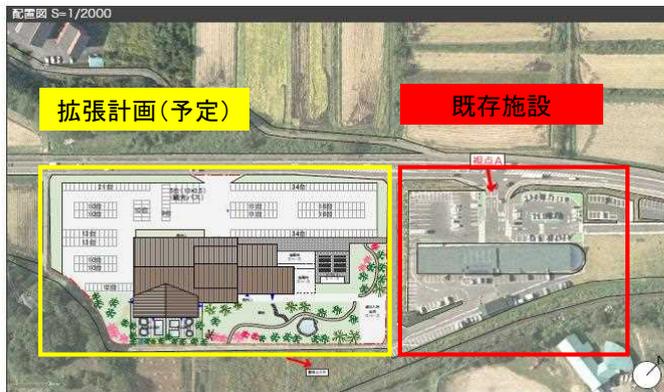
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

基本構想を基に検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



拡張計画(予定)イメージ

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
----	--------	-------

史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	--	---

事業期間 平成30年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 道の駅ばんだいから史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館へのアクセスを改善するため、大谷川を横断する新しいアクセス道を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第一種農地の用地取得範囲及び一級河川の横断工法の検討

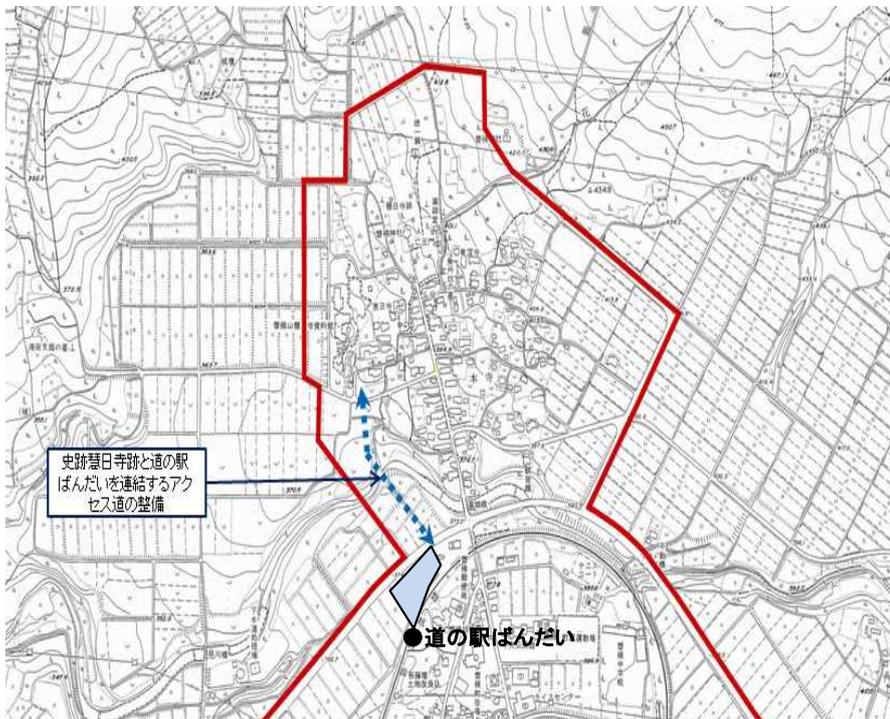
進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

アクセス道の整備予定箇所には県道横断・第一種農地や一級河川等が存在するため、工法・用地取得を含めさらなる検討を要する。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史まちづくり推進機構の設立	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和5年度
支援事業名	町単独事業

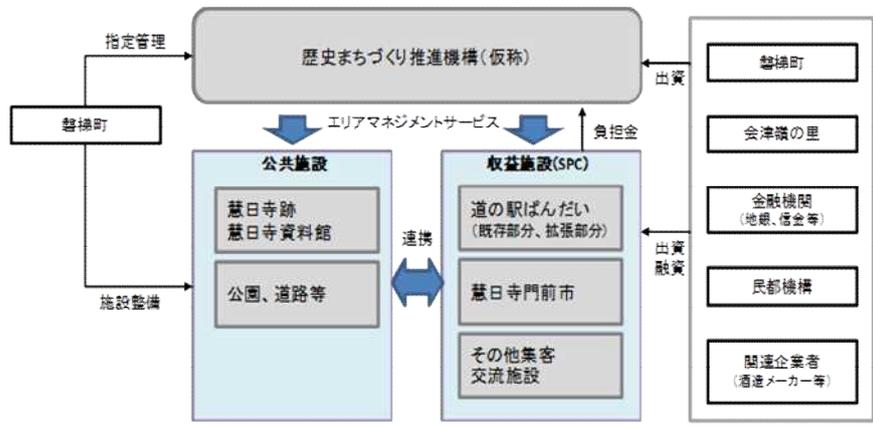
計画に記載している内容
 主要集客交流施設である史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館、道の駅ばんだい周辺地域で、官民連携によるエリアマネジメントを実施する地区の一体的な管理運営組織として、「歴史まちづくり推進機構(仮称)」をまちづくり会社方式で設立する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

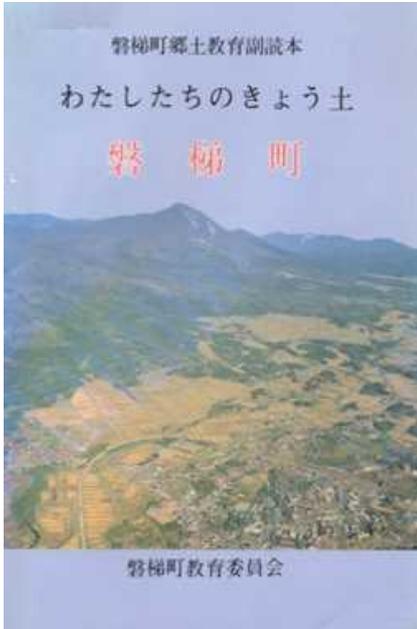
歴史まちづくり推進機構(仮設)の設立に向け検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域住民が主体となった組織として機能する必要があることから、まずは地域のリーダーとなる担い手の育成をはじめ、住民が主体となった活動を行政として支援できる体制づくりが必要。

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり推進機構スキーム図

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和元年度 現在の状況
磐梯町歴史文化読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和3年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	磐梯町の歴史や伝統の理解と生まれ育った郷土愛を育むため、副読本を作成する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
作成に向けた関係機関との協議	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	前回の副読本作成から20年以上経過しており、内容の見直しをどの程度まで実施するかが課題。(改訂増補とするか、内容を刷新するか。また、その場合の編さん組織をどのようにするかなど)教育関係との連携も不可欠である。
状況を示す写真や資料等	
 <p>副読本『わたしたちの郷土』 平成5年(1993)作成 平成10年改訂</p>	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の修復・整備に関する取組み		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の適切な維持管理に向けて、指定文化財の現状把握に努めるとともに、損傷具合等により優先順位を決めて修復・整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和元年度、町指定民俗文化財「布藤山の神の獅子頭及び用具6点」のうち今回、神楽面4枚を修復した。
- 平成30年度、県指定重要無形民俗文化財「磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞」巫女舞にかかる囃子・巫女の装束を新調更新。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【修復前】



【修復後】



町指定民俗文化財「布藤山の神の獅子頭及び用具6点」のうち修復した「神楽面4枚」

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	磐梯山慧日寺資料館や慧日寺跡金堂の周辺施設において、往時の雰囲気や、会津仏教文化を楽しみながら学べる施設として機能更新を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○令和元年度、文化財の保存と活用を目的とし、町で改修した旧吉田家住宅が新たに観光交流拠点としてOPENした。 ○平成30年度、金堂でのイベント等を継続していくため、県のサポート事業により、照明・音響・ベンチを購入した。 ○平成28年度より磐梯町公衆無線LAN「BANDAI Free Wi-Fi」の運用開始 (史跡慧日寺跡休憩施設・史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

The collage contains the following elements:

- Poster:** Promotes 'Takemono no Sato Shichirōtei' (徳一の里 庄九郎亭) as a 'Historical Home Cafe' (古民家カフェ). It features a large photograph of the building and contact information for 'Takemono no Sato Shichirōtei, Inc.' (TEL: 0242-85-7200).
- Floor Plan (Top Right):** A detailed architectural drawing of the building's interior, showing various rooms and furniture. It includes a legend for '中の庭' (Middle Garden) and '休憩室' (Restroom).
- Exterior Photo (Middle Left):** A photograph of the traditional Japanese residence with its characteristic tiled roof and wooden structure.
- Historical Floor Plan (Bottom Right):** A smaller floor plan titled '往時のまどり' (Past Days), showing the layout of the building in its original state.

平成31年4月20日にOPENした「徳一の里 庄九郎亭」

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の周辺環境の保全に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 空間の基盤を成す磐梯山麓の自然環境を確実に保全し、既存の良好な史跡景観を保全を推進するとともに、歴史的景観の復元に向けた魅力ある空間形成を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡慧日寺跡指定範囲内等の適切な草刈り及び樹木保全作業 A=9,400㎡

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



史跡内および文化財周辺の環境整備の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
----	-------

文化財の防災に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

計画に記載している内容
 文化財を火災や地震等の災害から守り、後世に正しく引き継ぐために、定期的な見回りや火の後始末の確認などの日常管理の徹底について啓発するなど、町民の防火、防災意識の高揚を図り、地域ぐるみの防災体制の整備に努めるとともに、文化財の所有者に対しては、防災に係る周知と防災教育の取り組みを通して日常の防災意識の向上を促進する。
 また、文化財の防犯体制については注意喚起等、適宜、文化財所有地区へ周知徹底している。現在、史跡慧日寺跡金堂内、防犯カメラ1基設置済。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○猪苗代消防署警梯出張所・警梯町消防団及び文化財建造物管理者と連携し、史跡慧日寺跡地内で消防訓練を実施
 指定文化財建造物の火災発生対応訓練、消防団による消火訓練の実施(金堂)
 防火査察の実施(恵日寺、金堂、仁王門、薬師寺、龍宝寺)
 町指定文化財自動火災報知機設備点検にかかる町補助 (恵日寺、金堂、仁王門、薬師寺、龍宝寺)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



消防団による消火放水訓練(金堂)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取組み

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「会津の三十三観音とお薬師さま」4月1日～5月26日 来場者:3,853人
 「徳一菩薩ゆかりの南都寺院」～興福寺の至宝～」6月1日～8月25日 来場者:8,119人
 写真家 高橋与兵衛「東日本大震災復興祈念写真展」9月2日～10月27日 来場者:4,382人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



「東日本大震災復興祈念写真展」



「徳一菩薩ゆかりの南都寺院」～興福寺の至宝～」

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱いに関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	史跡の発掘を推進するとともに、発掘体験の場の提供等を通じて埋蔵文化財の重要性の啓発を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○史跡内堂東・および史跡外の旧吉田家住宅南側 A=300㎡を対象に発掘調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



史跡指定地内の発掘調査

評価軸④-7 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
項目			
住民、NPO等各種団体の状況及び今後の体制整備の取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用に向けた取り組みの推進やNPOなどの団体設立について助言・指導を進めていき、活動に対する支援を行う等、住民やこれらの団体等と連携して文化財の保存・活用に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
舟引き祭り実行委員会主催の「県指定文化財 舟引き祭り」と巫女舞」挙行の際の活動に対する支援を実施。(巫女舞児童、囃子楽人の会場への送迎等)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>巫女舞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>舟引き祭り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>山神社祭礼</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>磐梯神社祭礼</p> </div> </div>			

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

主な報道等タイトル	評価対象年度	令和元年度
	年月日	掲載紙等
慧日寺に観光拠点「庄九郎亭」20日開所	平成31年4月6日	福島民友
「庄九郎亭」20日オープン 磐梯・国指定史跡慧日寺跡の観光拠点	平成31年4月18日	福島民報
古民家の春と景観を楽しんで 磐梯・庄九郎亭一般公開	平成31年4月22日	福島民友
慧日寺跡に雅楽の調べ 東儀秀樹さんがコンサート	令和元年10月6日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定史跡慧日寺跡の南側に整備していた、旧吉田家住宅が新たな観光交流拠点「徳一の里 庄九郎亭」として4月にオープンした。
史跡内を巡った観光客が休めるよう、休憩所・観光案内・カフェなどを設けた。
また、展示物完成1周年記念として行った催しも大盛況であり、各種メディア等に取り上げられ、町内外へアピールするとともに歴史まちづくりに対する関心が更に高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

- 史跡慧日寺跡に関する記事
 - ・ 民衆救う熱意 青年僧 (令和元年8月8日 福島民友)
 - ・ 磐梯山噴火が契機か 慧日寺拠点に救済 (令和元年8月9日 福島民報)
 - ・ 「奈良と会津の縁大事に」 興福寺が磐梯町に寄付 (令和元年12月24日 福島民友)
- 祭礼・イベント等に関する記事
 - ・ 会津の産業、文化体験「薬師如来坐像を拝観」(平成31年4月28日 福島民友)
 - ・ おでかけスポット情報 企画展「徳一菩薩ゆかりの南都寺院～興福寺の至宝」(令和元年6月14日 福島民友)
 - ・ 会津で生まれた奥深い仏教文化 慧日寺資料館が講座 (令和元年6月23日 福島民友)
 - ・ 8月、慧日寺跡「林家たい平独演会」 磐梯・薬師如来坐像完成1周年記念 (令和元年6月25日 福島民報)
 - ・ 慧日寺照らす幻想の光・磐梯 (令和元年7月6日 福島民報)
 - ・ 磐梯山周辺巡る 俳優3人と観光ツアー (令和元年7月17日 福島民報)
 - ・ 林家たい平師匠 話芸で魅了 薬師如来坐像完成1周年記念 (令和元年8月18日 福島民報)
 - ・ 磐梯・林家たい平師匠独演会 (令和元年8月19日 福島民報)
 - ・ 慧日寺跡でイベント「幻想的演出と声明」(令和元年8月20日 福島民友)
 - ・ 史跡慧日寺跡 薬師如来坐像完成1周年記念 東儀秀樹コンサート (令和元年8月31日 福島民報)
 - ・ 「徳一」の心写真で表現 高橋与兵衛展「徳一菩薩と仏たち」(令和元年9月3日 福島民報)
 - ・ 慧日寺跡に雅楽の調べ 東儀秀樹さんがコンサート (令和元年10月6日 福島民報)
 - ・ 慧日寺跡にジャズ響く 町主催で演奏会 (令和元年10月30日 福島民報)
- 歴史的まちなみ整備に関する記事
 - ・ 慧日寺に観光拠点「庄九郎亭」20日開所 (平成31年4月6日 福島民友)
 - ・ 「庄九郎亭」20日オープン 磐梯・国指定史跡慧日寺跡の観光拠点 (平成31年4月18日 福島民報)
 - ・ 「庄九郎亭」が開所 磐梯・慧日寺跡の観光拠点 (平成31年4月20日 福島民報)
 - ・ 「庄九郎亭」オープン・磐梯 (平成31年4月21日 福島民報)
 - ・ 古民家と春の景観を楽しんで 磐梯・庄九郎亭一般公開 (平成31年4月22日 福島民友)
 - ・ 地域拠点などを視察 内堀知事・磐梯で (令和元年8月31日 福島民報)
- テレビ放映 (2本)
 - ・ 磐梯町に新たな観光拠点カフェや観光案内所としてOPEN (テレビユー福島 令和元年4月19日 OA)
 - ・ 磐梯町の観光拠点・古民家カフェOPEN (KFB福島放送 令和元年5月21日 OA)



地元紙に取り上げられた記事

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和元年度
項目			
史跡慧日寺跡を活用したイベントの実施			
計画に記載している内容	文化財に親しみを持ってもらうため、復元された金堂・中門を活用したイベントの活性化や、発掘体験、写生会など学校教育・生涯学習の場としての活用を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
<ul style="list-style-type: none"> ・史跡慧日寺跡ライトアップ「月待ちの灯り」 令和元年7月5日(金)～3日(日) 総来場者数1,266名 ・福島民報主催「林家たい平独演会」 令和元年8月17日(土) 総来場者集418名 ・史跡慧日寺跡「ともし火と仏教声楽の夕べ」 令和元年8月18日(日) 来場者数337名 ・薬師如来坐像復元展示物完成1周年記念「東儀秀樹コンサート」 令和元年10月5日(土) 来場者数784名 ・「秋の門前市・演奏会」 令和元年10月27日(日) 来場者数359名 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><ライトアップイベント> 月待ちの灯り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><屋外公演会> 林家たい平独演会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><屋外公演会> ともし火と仏教声楽の夕べ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><屋外公演会> 東儀秀樹コンサート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>秋の慧日寺門前市</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><屋外公演会> 秋の演奏会ジャズコンサート</p> </div> </div>			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第8回磐梯町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和2年3月19日(木) 午前9時30分~12時00分 (新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催に変更)	
<p>○③-2歴史的建造物を修理する際には、建築史の協議会委員と十分に協議した上で計画を立て、工事中も現地指導を受けること。</p> <p>○③-7景観計画策定事業の景観ガイドラインに関する資料を確認しましたが、実際の景観整備に際しては、より具体的な矩計、下見板の使用(またその時代変遷)、玄関の形態、開口部および建具の使用等、地域の特性を把握することが前提になります。</p> <p>○③-19ガイド育成が進捗することは高く評価します。このガイド育成と地域住民の方々の保存意識醸成が両論のように進むことが期待されます。</p> <p>○③-2過去の5棟の実績は計画通りに進捗しているのか。所有者の資力などの問題もあるが、計画的に進めるには、修景に協力し補修を実施したい所有者の要望などを事前にお聞きした中で、先の年度計画に取り入れることも必要かと思えます。</p> <p>○③-22道の駅ばんだいを拠点とした観光客を史跡慧日寺に誘導する有効な事業と考えます。また、今後のことを考えれば、本寺地区住民にとって交通安全などの生活道路の確保は重要な問題であり、実現できるよう着実に進めていただきたい。</p>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ●③-12大寺城跡については、まず発掘調査を計画したい。 ●歴史的建造物の修景については、建築史の協議会委員と協議して計画を立てること。 ●修理に際して、今後の修理および修景の参考になるような視点で、使用調査の蓄積が継続するとよいと考えます。 ●建造物に関しては所在、年代についての情報は蓄積がありますので、とくに外観の伝統様式の仕様調査(様式の登場時期および変遷を含む)が必要と考えます。 ●磐梯町の歴史ある貴重な文化財を現在そして将来のために計画的に着実に保存、継承、活用していただきたい。そのためにも、周知(知っていただくこと)が重要と考えますので、魅力的な情報発信をお願いします。 	